



2021年10月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年12月14日

上場会社名 巴工業株式会社
 コード番号 6309 URL <https://www.tomo-e.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 仁

問合せ先責任者 (役職名) 経理部担当取締役 (氏名) 矢倉 敏明

TEL 03-3442-5127

定時株主総会開催予定日 2022年1月28日

配当支払開始予定日

2022年1月31日

有価証券報告書提出予定日 2022年1月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期の連結業績(2020年11月1日～2021年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	45,132	15.1	2,843	25.8	2,905	26.6	2,108	37.6
2020年10月期	39,218	5.2	2,260	4.9	2,294	3.8	1,532	2.3

(注) 包括利益 2021年10月期 2,666百万円 (109.0%) 2020年10月期 1,276百万円 (12.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年10月期	211.30		6.9	7.1	6.3
2020年10月期	153.56		5.2	5.9	5.8

(参考) 持分法投資損益 2021年10月期 百万円 2020年10月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期	43,254	31,841	73.6	3,191.07
2020年10月期	38,438	29,668	77.2	2,973.31

(参考) 自己資本 2021年10月期 31,841百万円 2020年10月期 29,668百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年10月期	2,142	977	494	12,607
2020年10月期	661	485	468	11,857

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年10月期		23.50		24.50	48.00	478	31.3	1.6
2021年10月期		25.00		25.00	50.00	498	23.7	1.6
2022年10月期(予想)		25.00		25.00	50.00		25.5	

3. 2022年10月期の連結業績予想(2021年11月1日～2022年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,650		2,390	16.0	2,400	17.4	1,960	7.0	196.43

2022年10月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等が適用となるため、当該基準適用前である2021年10月期の売上高の実績値に対する増減率は記載しておりません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) TOMOE Trading(Malaysia) Sdn.Bhd.、除外 1 社 (社名) 巴栄工業機械(上海)有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期	10,533,200 株	2020年10月期	10,533,200 株
期末自己株式数	2021年10月期	554,911 株	2020年10月期	554,861 株
期中平均株式数	2021年10月期	9,978,307 株	2020年10月期	9,978,339 株

(参考)個別業績の概要

2021年10月期の個別業績(2020年11月1日～2021年10月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	40,569	11.9	2,359	10.5	2,557	6.7	1,980	2.1
2020年10月期	36,243	3.4	2,134	0.2	2,740	22.1	2,022	31.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期	198.50	
2020年10月期	202.74	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年10月期	40,719		29,840		73.3		2,990.53	
2020年10月期	36,790		28,200		76.7		2,826.21	

(参考) 自己資本 2021年10月期 29,840百万円 2020年10月期 28,200百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表および主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書および連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の方が国経済は、期初にコロナ禍からの急回復で好調に滑り出したものの、年初にはマイナス成長に転じ、その後一旦は回復しましたが直近では個人消費、設備投資、輸出が減少し再びマイナス成長になっています。一方、海外においては、中国および米国経済が足元では成長率が鈍化しているものの堅調に推移し欧州経済もプラス成長となっています。

こうした情勢の下、当連結会計年度における売上高は、機械製造販売事業および化学工業製品販売事業の販売が共に増加したため、前年度比15.1%増の45,132百万円となりました。利益面につきましては、化学工業製品販売事業が増収となったことを背景に営業利益は前年度比25.8%増の2,843百万円、経常利益が前年度比26.6%増の2,905百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は中国の連結子会社清算益を計上したことを主因に前年度比37.6%増の2,108百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(機械製造販売事業)

機械製造販売事業では、国内民需向け機械と装置・工事の販売が伸び悩んだものの、国内官需向け機械と装置・工事および海外向け機械に加えて国内官民需および海外の部品・修理の販売が伸長したため、当連結会計年度の売上高は前年度比6.7%増加し12,322百万円となりました。

(単位：百万円)

	品目区分	機械	装置・工事	部品・修理	合計
官 需	21/10	710	1,419	2,686	4,815
	20/10	682	1,214	2,473	4,370
	差 異	27	204	212	445
民 需	21/10	669	4	2,044	2,719
	20/10	745	120	2,022	2,888
	差 異	△75	△116	21	△169
海 外	21/10	2,167	0	2,619	4,787
	20/10	2,119	5	2,169	4,294
	差 異	47	△4	450	493
合 計	21/10	3,547	1,424	7,350	12,322
	20/10	3,547	1,340	6,665	11,553
	差 異	0	84	685	769

利益面につきましては、収益性の低下と販管費の増加により営業利益は前年度比4.3%減少し886百万円となりました。

(化学工業製品販売事業)

化学工業製品販売事業では、前年度後半に新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を大きく受けた自動車業界を始めとする急回復を背景に、国内外の合成樹脂関連の樹脂原料や製品、工業材料・鉱産関連の自動車・建材用途向け材料、化成品関連の紫外線硬化樹脂、塗料・インキ用途向け材料や添加剤を中心に全分野での販売が増加したことから、当連結会計年度の売上高は前年度比18.6%増加し32,809百万円となりました。

(単位：百万円)

	20/10	21/10	差 異
合成樹脂関連	6,425	8,430	2,005
工業材料・鉱産関連	7,969	9,268	1,298
化成品関連	5,981	7,106	1,125
機能材料関連	3,284	3,644	359
電子材料関連	3,730	4,095	364
その他(洋酒)	274	265	△9
合計	27,664	32,809	5,144

利益面につきましては、全分野での増収を受け営業利益は前年度比46.7%増加し1,957百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の流動資産は、仕掛品ならびに原材料及び貯蔵品が減少した一方、受取手形及び売掛金ならびに電子記録債権が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ3,465百万円増加し33,404百万円となりました。固定資産は、建物、土地および退職給付に係る資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,349百万円増加し9,849百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金ならびに未払法人税等が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,642百万円増加し11,412百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,172百万円増加し31,841百万円となりました。

以上の結果、当連結会計年度末における自己資本比率は、前連結会計年度末の77.2%から3.6ポイント低下して73.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動で収入となった一方、投資活動および財務活動の各段階で支出となったことにより、前連結会計年度末に比べ749百万円増加し12,607百万円となりました。ここに至る当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況とその変動要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動による資金の増加は、2,142百万円となりました。これは、売上債権の増加2,330百万円があったものの、仕入債務の増加1,287百万円、税金等調整前当期純利益の2,992百万円、減価償却費による資金の留保381百万円等によるものです。なお、前連結会計年度の661百万円の収入に比べ1,481百万円の収入増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、977百万円となりました。これは、投資有価証券の売却による収入47百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出1,003百万円等によるものです。なお、前連結会計年度の485百万円の支出に比べ491百万円の支出増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は、494百万円となりました。これは、配当金の支払額493百万円等によるものです。なお、前連結会計年度の468百万円に比べ25百万円の支出増加となりました。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年10月期	2018年10月期	2019年10月期	2020年10月期	2021年10月期
自己資本比率(%)	73.8	74.7	73.9	77.2	73.6
時価ベースの自己資本比率(%)	59.1	58.3	60.3	50.4	52.5
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率(年)	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0
インタレスト・カバレッジ・ レシオ(倍)	28.3	68.9	114.8	93.0	884.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(注5) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号)等を2019年10月期の期首から適用しており、2018年10月期については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標となっております。

(4) 今後の見通し

2022年10月期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大がワクチン接種の進展により鎮静化し緩やかに回復すると見られるものの、世界的な半導体不足による自動車の減産、中国の電力規制問題、急激な為替変動、資源価格の高騰、物流停滞といった不安要因があり不透明な情勢が見込まれます。一方、海外では中国および米国経済は成長率が鈍化するものの堅調に推移し、欧州経済も緩やかに回復することが見込まれますが、欧米地域における同ウイルス感染の再拡大に加えて新たな変異株の出現など楽観視出来ない状況にあります。

2022年10月期は第12回中期経営計画「Change For The Future (将来のための変革)」(2019年11月～2022年10月)の最終年度に当たり計画達成と更なる成長実現を目指し種々の取り組みを推進しております。中でも、海外ビジネスの拡大を図ることが重要課題と認識し、機械製造販売事業では中国および東南アジア向けの販売拡大に加えて、北米および中南米における市場開拓を一段と推進することにより販売増大を図り、連結売上高は12,800百万円を予定します。営業利益については収益性の良い部品修理販売の減少と販管費の増加を見込むことから前年度比12.1%減の780百万円となる見通しです。将来の成長に資するAI制御システム、バイナリー発電装置などの研究開発およびコストダウンのための生産改革に注力する計画です。化学工業製品販売事業ではタイ現地法人に続き2021年に設立したベトナム、マレーシア現地法人の本格稼働により東南アジアでの展開を一段と拡充する他、欧州、ロシア、アフリカにおける更なる商材開発を目指した事業展開を推進し、連結売上高は26,850百万円を予定します。営業利益については将来の成長に資する営業開発関係の販管費の増加を見込むことから前年度比17.7%減の1,610百万円となる見通しです(連結売上高は新収益認識基準を適用したものととなっております)。

以上に基づき、2022年10月期の連結売上高は39,650百万円、営業利益は前年度比16.0%減の2,390百万円、経常利益も前年度比17.4%減の2,400百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益に社員寮の売却益を見込むことから前年度比7.0%減の1,960百万円となる見通しです。

なお、上記の次期見通しは、現時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は、国内外の金融経済情勢や製商品に係る需給情勢、各種リスク要因等の様々な不確定要素により異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社グループは、「財務体質と経営基盤の強化のため内部留保の充実を図りつつ、連結業績および中期的なグループ事業戦略等を総合的に勘案し、適正かつ安定的な配当を実施する」ことを基本方針としております。

2021年10月期末の配当金は、この方針のもと、財務体質の状況および当期の業績と今後の見通し等を勘案し、前期と比べ1株当たり50銭増配となる25円00銭(年間配当金は前期と比べ1株当たり2円増配となる50円)とする予定です。

また、2022年10月期の配当金に関しましては、同様に財務体質の状況および連結業績等の見通しを勘案し、1株当たり年間50円(うち中間配当金25円)とさせていただきます。

2022年10月期は経営環境が先行き不透明な情勢にあり、更に将来の成長に資する経費が増加する見込みから2021年10月期に対して経常利益では減益を予想しております。特別利益として社員寮の売却といった一過性の要因を見込むものの、安定配当継続の観点から据え置くものとします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は企業間の比較可能性等を考慮して日本基準を採用し、IFRSの適用に関しては外部動向等を踏まえながら、対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表および主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,857,553	12,607,490
受取手形及び売掛金	10,400,639	11,694,334
電子記録債権	2,131,545	3,279,411
商品及び製品	2,605,708	3,589,851
仕掛品	1,684,070	1,290,848
原材料及び貯蔵品	1,066,944	743,778
その他	253,335	263,549
貸倒引当金	△60,767	△64,455
流動資産合計	29,939,029	33,404,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,722,504	5,236,376
減価償却累計額	△2,026,932	△2,183,281
建物及び構築物 (純額)	2,695,571	3,053,095
機械装置及び運搬具	3,826,069	3,992,687
減価償却累計額	△3,360,809	△3,555,668
機械装置及び運搬具 (純額)	465,260	437,019
土地	1,930,580	2,302,076
建設仮勘定	—	16,246
その他	1,071,431	1,097,469
減価償却累計額	△959,930	△995,989
その他 (純額)	111,500	101,480
有形固定資産合計	5,202,912	5,909,917
無形固定資産	128,516	81,073
投資その他の資産		
投資有価証券	1,227,085	1,425,438
差入保証金	398,405	402,260
退職給付に係る資産	1,473,503	1,956,842
繰延税金資産	12,143	13,508
その他	79,027	82,045
貸倒引当金	△22,291	△21,892
投資その他の資産合計	3,167,873	3,858,203
固定資産合計	8,499,302	9,849,194
資産合計	38,438,331	43,254,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,004,198	4,208,592
電子記録債務	2,150,419	2,306,052
未払金	621,692	685,729
未払法人税等	179,968	775,198
前受金	201,993	308,942
賞与引当金	1,231,975	1,406,031
役員賞与引当金	61,555	80,979
製品補償損失引当金	236,423	363,270
その他	397,235	536,079
流動負債合計	8,085,462	10,670,876
固定負債		
役員退職慰労引当金	5,460	5,460
退職給付に係る負債	71,219	67,772
繰延税金負債	607,445	668,441
固定負債合計	684,124	741,673
負債合計	8,769,587	11,412,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,061,210	1,061,210
資本剰余金	1,483,410	1,483,410
利益剰余金	27,107,252	28,721,695
自己株式	△363,977	△364,081
株主資本合計	29,287,895	30,902,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	307,456	450,885
繰延ヘッジ損益	△1,566	7,785
為替換算調整勘定	92,854	213,842
退職給付に係る調整累計額	△17,896	266,705
その他の包括利益累計額合計	380,848	939,220
純資産合計	29,668,743	31,841,454
負債純資産合計	38,438,331	43,254,004

(2) 連結損益計算書および連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
売上高	39,218,418	45,132,616
売上原価	30,079,424	35,017,477
売上総利益	9,138,994	10,115,138
販売費及び一般管理費	6,878,358	7,271,456
営業利益	2,260,635	2,843,681
営業外収益		
受取利息	2,976	2,526
受取配当金	33,505	33,951
受取賃貸料	7,171	7,407
為替差益	—	5,775
その他	35,040	34,646
営業外収益合計	78,694	84,308
営業外費用		
支払利息	7,114	2,423
支払手数料	9,008	9,000
売上割引	6,093	6,423
為替差損	16,418	—
その他	5,826	4,921
営業外費用合計	44,460	22,769
経常利益	2,294,869	2,905,220
特別利益		
投資有価証券売却益	921	23,927
関係会社清算益	—	62,996
特別利益合計	921	86,924
特別損失		
投資有価証券評価損	2,160	—
特別損失合計	2,160	—
税金等調整前当期純利益	2,293,630	2,992,144
法人税、住民税及び事業税	617,829	1,002,048
法人税等調整額	143,496	△118,272
法人税等合計	761,325	883,775
当期純利益	1,532,304	2,108,369
親会社株主に帰属する当期純利益	1,532,304	2,108,369

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
当期純利益	1,532,304	2,108,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131,902	143,429
繰延ヘッジ損益	△3,521	9,352
為替換算調整勘定	9,572	120,987
退職給付に係る調整額	△130,220	284,602
その他の包括利益合計	△256,072	558,371
包括利益	1,276,231	2,666,741
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,276,231	2,666,741

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日))

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,061,210	1,483,410	26,043,930	△363,977	28,224,573
当期変動額					
剰余金の配当			△468,981		△468,981
親会社株主に帰属する当期純利益			1,532,304		1,532,304
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,063,322	—	1,063,322
当期末残高	1,061,210	1,483,410	27,107,252	△363,977	29,287,895

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	439,359	1,954	83,282	112,324	636,920	28,861,494
当期変動額						
剰余金の配当						△468,981
親会社株主に帰属する当期純利益						1,532,304
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△131,902	△3,521	9,572	△130,220	△256,072	△256,072
当期変動額合計	△131,902	△3,521	9,572	△130,220	△256,072	807,249
当期末残高	307,456	△1,566	92,854	△17,896	380,848	29,668,743

当連結会計年度(自 2020年11月 1日 至 2021年10月31日))

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,061,210	1,483,410	27,107,252	△363,977	29,287,895
当期変動額					
剰余金の配当			△493,926		△493,926
親会社株主に帰属する当期純利益			2,108,369		2,108,369
自己株式の取得				△104	△104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,614,443	△104	1,614,338
当期末残高	1,061,210	1,483,410	28,721,695	△364,081	30,902,234

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	307,456	△1,566	92,854	△17,896	380,848	29,668,743
当期変動額						
剰余金の配当						△493,926
親会社株主に帰属する当期純利益						2,108,369
自己株式の取得						△104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	143,429	9,352	120,987	284,602	558,371	558,371
当期変動額合計	143,429	9,352	120,987	284,602	558,371	2,172,710
当期末残高	450,885	7,785	213,842	266,705	939,220	31,841,454

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,293,630	2,992,144
減価償却費	360,890	381,053
賞与引当金の増減額 (△は減少)	71,377	173,525
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,072	19,424
製品補償損失引当金の増減額 (△は減少)	△76,927	126,846
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,010	△3,446
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△46,687	△46,703
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,109	△186
受取利息及び受取配当金	△36,481	△36,478
支払利息	7,114	2,423
為替差損益 (△は益)	27,769	4,283
投資有価証券売却損益 (△は益)	△921	△23,927
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,160	—
関係会社清算損益 (△は益)	—	△62,996
売上債権の増減額 (△は増加)	△211,807	△2,330,535
たな卸資産の増減額 (△は増加)	80,873	△212,962
仕入債務の増減額 (△は減少)	△817,191	1,287,448
未払金の増減額 (△は減少)	△81,663	47,728
前受金の増減額 (△は減少)	△375,375	104,809
未払消費税等の増減額 (△は減少)	162,500	97,343
その他	142,081	28,609
小計	1,496,169	2,548,406
利息及び配当金の受取額	36,571	36,483
利息の支払額	△7,114	△2,423
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△863,839	△439,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	661,786	2,142,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,000,000	△8,000,000
定期預金の払戻による収入	8,000,000	8,000,000
有形固定資産の取得による支出	△373,384	△1,003,970
有形固定資産の売却による収入	—	9,265
無形固定資産の取得による支出	△44,980	△6,883
投資有価証券の取得による支出	△21,991	△19,752
投資有価証券の売却による収入	1,674	47,889
貸付けによる支出	△1,640	△4,615
貸付金の回収による収入	2,805	2,510
差入保証金の増減額 (△は増加)	△48,952	△1,278
その他	546	△342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△485,922	△977,177
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△104
配当金の支払額	△468,981	△493,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△468,981	△494,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,690	78,294
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△290,427	749,936
現金及び現金同等物の期首残高	12,147,981	11,857,553
現金及び現金同等物の期末残高	11,857,553	12,607,490

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「保険返戻金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「保険返戻金」4,427千円、「その他」30,613千円は、「その他」35,040千円として組み替えております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、当社グループの事業活動にも影響を及ぼしております。

このような状況は、今後も徐々に正常化することを仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、翌連結会計年度以降の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社は2つの事業本部を置き、両事業本部は夫々取り扱う製品・商品について国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

こうしたことから当社ではこの2つの事業、即ち「機械製造販売事業」と「化学工業製品販売事業」の2つを報告セグメントとしております。このうちの「機械製造販売事業」は主として遠心分離機等の製造・販売を行うものであり、また、「化学工業製品販売事業」は主に化学工業製品等の仕入・販売を行うものであります。

なお、当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源にかかわる配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成に採用している会計処理の方法と同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	機械製造販売	化学工業製品 販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,553,455	27,664,962	39,218,418	—	39,218,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,553,455	27,664,962	39,218,418	—	39,218,418
セグメント利益	926,426	1,334,208	2,260,635	—	2,260,635
セグメント資産	10,172,315	15,180,376	25,352,692	13,085,639	38,438,331
その他の項目					
減価償却費	263,644	97,246	360,890	—	360,890
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	259,379	44,254	303,633	—	303,633

(注) 1. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、余資運用資金(現金及び預金)および長期投資資金(投資有価証券)であります。

2. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	機械製造販売	化学工業製品 販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,322,687	32,809,928	45,132,616	—	45,132,616
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,322,687	32,809,928	45,132,616	—	45,132,616
セグメント利益	886,670	1,957,011	2,843,681	—	2,843,681
セグメント資産	9,754,839	19,465,236	29,220,075	14,033,929	43,254,004
その他の項目					
減価償却費	295,162	85,891	381,053	—	381,053
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	496,977	525,946	1,022,924	—	1,022,924

(注) 1. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、余資運用資金(現金及び預金)および長期投資資金(投資有価証券)であります。

2. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

1. 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
31,438,039	7,051,510	728,868	39,218,418

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
4,815,210	257,574	130,127	5,202,912

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

1. 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
35,324,321	8,852,085	956,209	45,132,616

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
5,535,095	249,165	125,655	5,909,917

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額および未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
1株当たり純資産額	2,973.31円	3,191.07円
1株当たり当期純利益	153.56円	211.30円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,532,304	2,108,369
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,532,304	2,108,369
普通株式の期中平均株式数(株)	9,978,339	9,978,307

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
純資産の部の合計額(千円)	29,668,743	31,841,454
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	29,668,743	31,841,454
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数(株)	9,978,339	9,978,289

(重要な後発事象)

該当事項はありません。